



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年2月6日

東

上場会社名 ハビックス株式会社

上場取引所

コード番号 3895

URL <https://www.havix.co.jp/>

代表者（役職名） 代表取締役社長

（氏名） 福村 大介

問合せ先責任者（役職名） 常務取締役

（氏名） 伊神 清隆

TEL 058-296-3911

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第3四半期の業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期第3四半期	9,263	—	343	—	371	—	431	—
2025年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	55.09	—
2025年3月期第3四半期	—	—

（注）当社は、2025年3月期第3四半期は連結業績を開示しておりましたが、当第1四半期から非連結での業績を開示しております。そのため、2025年3月期第3四半期の実績及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期第3四半期	12,000	7,581	63.2
2025年3月期	12,191	7,230	59.3

（参考）自己資本 2026年3月期第3四半期 7,581百万円 2025年3月期 7,230百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	18.00	18.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	16.00	16.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

（注）2025年3月期配当金の内訳 普通配当16円00銭 上場20周年記念配当2円00銭

2026年3月期（予想）配当金の内訳 普通配当16円00銭

3. 2026年3月期の業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	12,500	△6.1	400	△44.2	400	△50.6	420	△35.6	53.85

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年3月期3Q	8,175,280株	2025年3月期	8,175,280株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2026年3月期3Q	339,616株	2025年3月期	367,896株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2026年3月期3Q	7,824,558株	2025年3月期3Q	7,796,096株
------------	------------	------------	------------

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、2026年3月期の業績予想につきましては、現時点において2025年11月10日に公表しました業績予想に変更はございません。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期累計期間の財政状態の概況	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期累計期間の経営成績の概況

当社は2024年6月14日付適時開示「連結子会社の解散及び清算に関するお知らせ」において、当社連結子会社であるHAVIX TRADING(Thailand) Co., Ltd. (以下、「当該連結子会社」) について解散することをお知らせいたしました。現時点において当該連結子会社の清算は終了しておりませんが、既に事業活動は停止しており、当該連結子会社の金額及び質的観点からの重要性は乏しく、また、当社は他に子会社が存在しないことから、2026年3月期の期首より、非連結決算へ移行いたしました。なお、当第3四半期累計期間より四半期財務諸表を作成しているため、前年同四半期との比較分析は行っておりません。

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、株価等の上昇による資産拡大効果、政府によるガソリン暫定税率廃止や電気・ガス料金補助等の経済効果もあり、個人消費は一部において緩やかな回復傾向にありましたが、一方で、円安による輸入物価の高騰に伴う消費者物価の上昇、労働者人口の減少に伴う人手不足、賃金や金利の上昇等による経営環境の悪化、先行き不透明な米国関税政策の影響等により、引き続き、不安定な状況にありました。

当社が製品を提供する外食産業市場におきましては、2025年の訪日外国人旅行者が4,000万人を超え年間過去最高を更新しており、インバウンド消費の増加傾向は続いておりますが、国内人口の高齢化が進むことで、労働人口の減少による慢性的な人手不足は深刻化しており、これによる人件費や原材料高騰への対応として、消耗品の安価な中国製製品への切り替えが進み、当社製品の拡販や価格改定も厳しい状況が続いております。

一方、衛生材料市場におきましては、ペットを「家族の一員」として、これまで以上にペットとの共生が重視されており、ペットと快適・健康に過ごすための製品・サービス市場が拡大傾向にあります。また、紙おむつ市場におきましては、高齢化による介護人口の増加や、病院や介護施設での需要に加え、在宅での利用も増えていることから、大人用紙おむつは需要の拡大が続いております。ベビー用紙おむつは、少子化の影響を受け、製品単価向上のため、高機能・高付加価値商品の投入が一部試みられておりますが、一方で、コストダウンのため使用素材を安価品へ切り替える動きが加速しており、当社製品の販売も影響を受けております。

このような環境のなか、当社は既存製品の販路拡大、安定した利益が見込まれる付加価値の高い製品の開発、生産効率の一層の改善、良質で安価な原材料の調達などにより収益の確保に努めてまいりました。加えて、ガバナンスの強化による信頼と業務品質の向上、インナーブランディングによる企業理念浸透活動の推進、社員一人ひとりが最大限の能力を発揮できる職場環境の整備により、当社の経営基盤を強化してまいりました。この結果、当第3四半期累計期間の売上高は9,263百万円、営業利益は343百万円、経常利益は371百万円、四半期純利益は431百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

a. 不織布関連事業

パルプ不織布は、主力製品である業務用クッキングペーパー、ドリップ吸収シート向け製品および医療・介護向けの衛生用品ブランド「Kireine (キレイネ)」製品、化合繊不織布は、ペットシート向けおよび紙おむつ向け製品を中心に拡販活動を積極的に展開してまいりました。しかし、両不織布において、価格修正による受注の低迷、さらには安価な中国製製品や代替素材への切り替えが進んだことが業績に影響を与えました。

この結果、当四半期累計期間の売上高は5,173百万円、セグメント利益は811百万円となりました。

b. 紙関連事業

衛生用紙は、衛生材料市場における紙おむつ、ペットシート向け製品、さらにはトイレクリーナー向け製品を中心に拡販活動を行いました。しかし、価格修正による受注の低迷、さらには安価な代替素材への切り替えが進んだことが業績に影響を与えました。

この結果、当四半期累計期間の売上高は4,089百万円、セグメント利益は379百万円となりました。

(2) 当四半期累計期間の財政状態の概況

a. 資産

総資産は、前事業年度末と比べ191百万円減少して12,000百万円となりました。これは主に、現金及び預金が615百万円、投資有価証券が72百万円増加したこと、受取手形及び売掛金が472百万円、電子記録債権が143百万円、繰延税金資産が79百万円、原材料及び貯蔵品が65百万円、流動資産のその他に含まれる未収消費税が59百万円、流動資産のその他に含まれる未収入金が53百万円減少したこと等によるものであります。

b. 負債

負債は、前事業年度末と比べ542百万円減少して4,418百万円となりました。これは主に、電子記録債務が187百万円、流動負債のその他に含まれる未払消費税等が94百万円増加したこと、支払手形及び買掛金が511百万円、長期借入金が262百万円、賞与引当金が84百万円、未払金が52百万円減少したこと等によるものであります。

c. 純資産

純資産は、前事業年度末と比べ351百万円増加して7,581百万円となりました。これは主に、利益剰余金が290百万円、その他有価証券評価差額金が51百万円増加したこと等によるものであります。この結果、自己資本比率は63.2%となりました。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,168,212	2,783,403
受取手形及び売掛金	2,181,159	1,708,486
電子記録債権	2,029,034	1,885,144
有価証券	9,995	-
商品及び製品	591,005	572,069
仕掛品	10,907	9,251
原材料及び貯蔵品	1,053,783	988,680
その他	186,746	80,663
流動資産合計	8,230,845	8,027,697
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,174,850	1,177,507
構築物（純額）	25,799	21,525
機械及び装置（純額）	410,885	438,442
土地	1,222,690	1,222,690
建設仮勘定	138,424	150,320
その他（純額）	108,351	101,608
有形固定資産合計	3,081,000	3,112,094
無形固定資産	236,090	202,539
投資その他の資産		
投資有価証券	149,601	222,503
繰延税金資産	470,351	390,929
その他	57,347	78,252
貸倒引当金	△33,735	△33,735
投資その他の資産合計	643,565	657,949
固定資産合計	3,960,656	3,972,583
資産合計	12,191,501	12,000,281
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,499,631	988,201
電子記録債務	1,266,386	1,453,540
1年内返済予定の長期借入金	396,684	390,784
未払金	341,788	289,107
未払法人税等	11,818	58,475
賞与引当金	156,346	72,030
役員賞与引当金	38,000	20,700
その他	118,951	269,937
流動負債合計	3,829,607	3,542,778
固定負債		
長期借入金	904,522	642,149
退職給付引当金	199,452	200,643
その他	27,444	32,765
固定負債合計	1,131,419	875,557
負債合計	4,961,026	4,418,336

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2025年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	593,660	593,660
資本剰余金	650,414	651,858
利益剰余金	6,027,832	6,318,372
自己株式	△103,161	△95,231
株主資本合計	7,168,745	7,468,659
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	61,880	113,285
繰延ヘッジ損益	△150	-
評価・換算差額等合計	61,730	113,285
純資産合計	7,230,475	7,581,945
負債純資産合計	12,191,501	12,000,281

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	9,263,188
売上原価	7,508,328
売上総利益	1,754,859
販売費及び一般管理費	1,411,252
営業利益	343,607
営業外収益	
受取利息	2,707
受取配当金	5,878
為替差益	38,701
その他	25,289
営業外収益合計	72,576
営業外費用	
支払利息	7,219
支払手数料	20,500
デリバティブ評価損	9,294
その他	7,392
営業外費用合計	44,406
経常利益	371,777
特別利益	
受取補償金	194,127
特別利益合計	194,127
税引前四半期純利益	565,905
法人税、住民税及び事業税	76,976
法人税等調整額	57,855
法人税等合計	134,832
四半期純利益	431,072

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

I 当第3四半期累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	不織布関連事業	紙関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,173,432	4,089,755	9,263,188	—	9,263,188
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,173,432	4,089,755	9,263,188	—	9,263,188
セグメント利益	811,396	379,745	1,191,142	△847,534	343,607

(注) 1. セグメント利益の調整額△847,534千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	当第3四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	180,895千円